

利用ガイド

14 だれの落とし物？



持ち主をたずねる

クラスの子どもたちが、自分にとって大切な物を持ち寄り、それがだれの物から考える活動をします。その子にとって大切な物、必要不可欠な物、いつも使っている物、思い出の品など、一人ひとり違った物を大切にしているはずです。高価な物でなく、それを見るとだれの物かわかるような、その児童の特徴を示している物がいいでしょう。グローブといえばだれかななど、子どもたちの間では相互にわかる物があるはずです。何も思いつかない児童には、それぞれの小さいときの写真でもよいと思います。あるいは、これを機に自分を表すような物は何か考えるチャンスにさせてください。

番組では、遊園地のお手伝いをしながら、落とし物が届いたときの対応を子どもたちが経験します。遊園地などではたくさんの落とし物があります。係の人たちがその落とし物をどのように処理しているか実際の場面を体験する様子がわかります。

この表現が英語活動に使える！

- **Whose is this?** : だれの持ち物か尋ねる言い方。
- **Let's check!** : 何かを調べるときの「さあ調べてみよう！」の合図を表す言葉。
- **May I see it?** : May I～は許可を得るときの言葉。「見せてもらえますか」の意味になる。
- **Here you are.** : だれかに物を渡すときに言う言葉。日本語では「はい」と言って渡すときに該当する。

指導上の参考

活動に向けての先生方の準備と練習

①先生の大切な物を児童に紹介する方法を練習しておきましょう。

例1：時計

- This is my watch.
- My husband gave me this watch as a present.
- I love this watch.

例2：コンピューター

- This is my computer.
- I use this computer every day.
- I need this computer.

②子どもたちの「大切な物」を英語で言えるようにしておきましょう。子どもたちの物が集まつたら前もって調べておくといいでしょう。

soccer ball(サッカーボール), T-shirt(Tシャツ), baseball glove(グローブ), pendant(ペンダント), bat(バット), doll(人形), plastic model(プラモデル), picture(写真), ballet shoes(バレエシューズ)



活動例（1）「だれの物？」

【用意するもの】

- ・各児童の「大切な物」
- ・「大切な物」を入れておく大きな布袋

【活動内容】

- ①各自の「大切な物」のうち、名前が書いてある物や、だれの物かすぐにわかるような物は用意した布袋に入れ、形や名前がわからないようにする。
- ②袋ごと見せてそれが何か当てさせる。品物によっては袋の上から児童に触らせる。
- ③何かわかったら、それがだれの物か尋ねる。
- ④袋に入れられない物は直接見せてだれの物か判断させる。

【先生が使う言葉の例】

- What's this?
- What is in the bag?
- Whose is this?



活動例（2）「落とし主を探せ」

【用意するもの】

- ・落とし物が入っている箱

【活動内容】

クラスにある落とし物を全員に見せて、何があるか確認する。それからその落とし物の持ち主を探す活動をする。

【先生が使う言葉の例】

- Look at this box.
- There are a lot of things in this box.
- What's this? (箱から落とし物をひとつ持ち上げて言う)
- Whose is this?
- Let's check.
- There is a name.
- It's Tomoko's.



活動例（3）「クイズ：どこの国の物？」

【用意するもの】

- ・各国特有の品物(写真でよい)
- ・世界地図

【活動内容】

いろいろな国の特有の品物(写真でもよい)を見せて、それがどこの国の人々の物か尋ねる。さらにその国がどこにあるか世界地図で確認する。子どもたちが国名を英語で言えない場合には、先生が児童の答えの後に英語でその国名を言う。

【先生が使う言葉の例】

例 1：メキシコのソンブレロ

- Look at this picture.
- What's this?
- This is a sombrero.
- Who wears sombrero.
- Mexican people wear sombrero.
- Where is Mexico?

例 2：中国の茶器

- Look at this.
- What's this?
- It's a teacup.
- Who uses this teacup?
- Chinese people use this kind of teacup.
- Where is China?

例 3：韓国のお箸とスプーン

- Look at this picture.
- There are a pair of chopsticks and a spoon.
- Who uses these things?
- Koreans use these chopsticks and spoons.
- Where is Korea?
- Let's check!



国際理解学習への発展

「日本人の落とし物や忘れ物で最も多い物は何でしょう」という質問に、多くの人は「傘」と答えるのではないかでしょうか。落とし物のナンバーワンが傘かどうかの事実は不明ですが、上位に位置していることは間違いないでしょう。たくさんの落とし物の傘があるというのは、日本人にとって傘はなくてはならないものであることの証明になります。そして日本人にとって傘が必需品であるということが何を示しているかは言うまでもありません。

また、ひとつの国でも、落とし物の種類はそれぞれの時代によって変化しています。日本でも10年前には携帯電話の落とし物は当然少なかったはずです。多くの人が使うようになった物が落とし物として増えてきます。もちろんこれはその値段とも関係しています。世界各地の落とし物事情がわかると、その国の生活が見えてくるはずです。落とし物から見る社会学と言えます。

学校にもたくさんの落とし物があります。学校での落とし物にどのような物が多いか、そしてその落とし物が持ち主の所に戻る確率はどのくらいか、また落とし物を金額に換算すると週当たりいくらぐらいになるのかなどを調べる活動もできます。

学校にある落とし物を調べることをきっかけにして、駅や警察署、公園の管理事務所などを訪問して、それぞれの場所で多い落とし物は何かなど確認する活動もできます。さらに、インターネットを活用して、世界の国々の落とし物を調査する活動に広げることができると様々な驚きがあることでしょう。